



令和6年5月4日

補習校だより

No.2 文責 齋藤 寛

<ほめて伸ばせ 人はみな一番>

3週間がたちました。子供達は年度初めの興奮から次第に落ち着いて学校に通うようになってきたと思います。日本の学校では「5月病」ということばがありました。学年初めのがんばる気持ちがやや薄れていき、意欲が低下する傾向を指したことばです。けれどそれは本来時期を選びません。いつでも5月病になるのが今の学校です。その解決の糸口は自己肯定感の醸成だと思います。このことについては、だんだんと『花の街』(アクトン校舎便り)に書いていくつもりです。そのお便りはアクトン校の校舎長として書いているものですが、ブレント校・クロイドン校の保護者の方も興味があればお読みください。

◇学級懇談会◇

各学級から懇談会のお知らせが行くと思います。本校の職員は、それぞれ個性的で魅力的な人材が揃っています。各講師それぞれに独特の背景を背負い、補習校に集まってきた優れた教師達です。

各学級にはそれぞれの担任の持ち味を発揮して欲しいと願っています。子供達に個性が光るように先生方にも個性を輝かせて欲しいと願うからです。

懇談会では学級の運営について説明があると思います。補習校としての目的は同じでも教師によってアプローチは当然違ってきます。「今年はどんな風を楽しませてくれるのかな。」そんなことをお感じになっていただければと思います。

懇談会の出席後は、いつも通り「我が子をほめ、友達をほめ、担任をほめ」ですよ。

「今年の学級おもしろそうだね。」

「先生が、〇〇ちゃんのことをほめていたよ。」

なんて言うだけで我が子のモチベーションがぐっと変わります。

⇒ こうした親のちょっとした一言が子供達のモチベーションを左右します。

ぜひ、やってみてください。

